

第5 知能犯罪の特徴的傾向

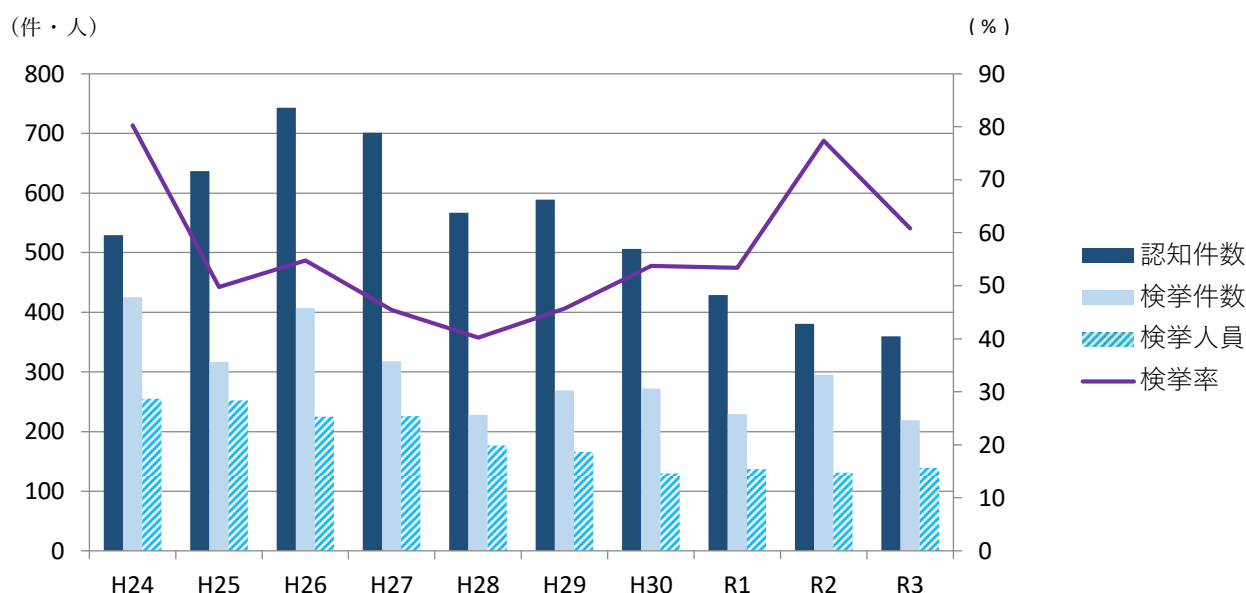
1 知能犯罪の概要

(1) 認知・検挙状況

詐欺・横領・背任・偽造・汚職等の認知件数は、図表31のとおり、平成24年以降増加傾向にあったところ、平成27年から減少傾向に転じ、令和3年は360件で前年比-21件（-5.5%）と減少した。

検挙件数及び検挙人員は、平成24年以降増減を繰り返しながら徐々に減少傾向にある中、令和3年の検挙件数は219件で前年比-76件（-25.8%）と減少し、検挙人員は139人で前年比+8人（+6.1%）と増加した。

(図表31) 過去10年の知能犯罪の認知・検挙状況の年別推移

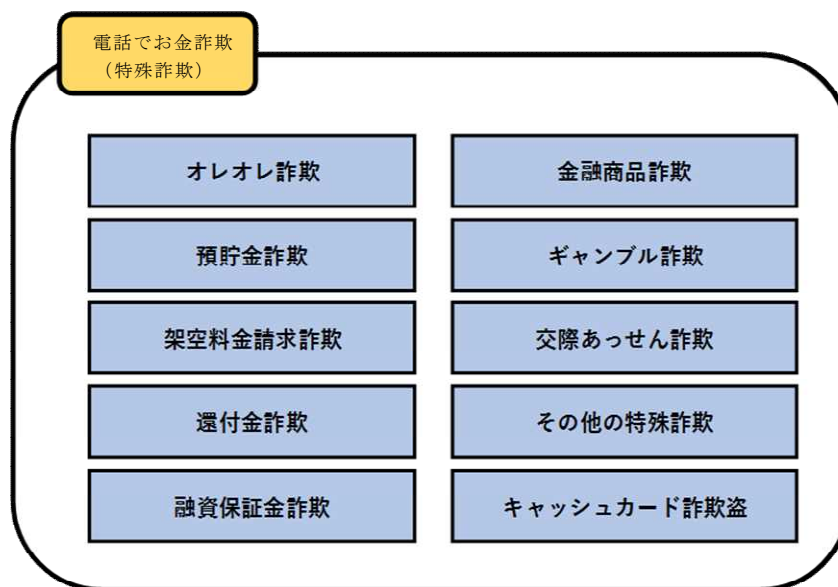


	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
認知件数 (前年比)	529 (+18)	637 (+108)	743 (+106)	701 (-42)	567 (-134)	589 (+22)	506 (-83)	429 (-77)	381 (-48)	360 (-21)
検挙件数 (前年比)	425 (+119)	317 (-108)	407 (+90)	318 (-89)	228 (-90)	269 (+41)	272 (+3)	229 (-43)	295 (+66)	219 (-76)
検挙率 (前年比)	80.3 (+20.4)	49.8 (-30.5)	54.8 (+5.0)	45.4 (-9.4)	40.2 (-5.2)	45.7 (+5.5)	53.8 (+8.1)	53.4 (-0.4)	77.4 (+24.0)	60.8 (-16.6)
検挙人員 (前年比)	255 (+35)	252 (-3)	225 (-27)	226 (+1)	177 (-49)	166 (-11)	130 (-36)	137 (+7)	131 (-6)	139 (+8)

(2) 電話でお金詐欺(特殊詐欺)

ア 電話でお金詐欺(特殊詐欺)とは

被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝及び隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗を含む。）の総称をいう。



イ 電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害の認知状況

令和3年中の認知状況は、図表32のとおり、件数は155件（前年比+30件）、被害金額は約2億6,894万円（前年比-約2,784万円）と認知件数は増加、被害額は減少した。

(図表32) 令和3年中の電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害認知状況

区分	令和2年		令和3年		前年比	
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数 増減率	被害額(円) 増減率
電話でお金詐欺(特殊詐欺) 合計	125	296,781,464 (103,438,000)	155	268,941,618 (58,413,000)	+30 24.0%	-27,839,846 (-45,025,000) -9.4%
オレオレ詐欺	11	45,415,000 (14,715,000)	40	93,217,000 (8,267,000)	+29 +263.6%	+47,802,000 (-6,448,000) +105.3%
預貯金詐欺	45	52,581,000 (52,581,000)	26	20,959,000 (20,959,000)	-19 -42.2%	-31,622,000 (-31,622,000) -60.1%
架空料金請求詐欺	41	139,232,352 ()	33	98,039,220 ()	-8 -19.5%	-41,193,132 (0) -29.6%
還付金詐欺	2	1,630,323 ()	20	16,925,040 ()	+18 +900.0%	+15,294,717 (0) +938.1%
融資保証金詐欺	5	8,780,789 ()	1	1,977,908 ()	-4 -80.0%	-6,802,881 (0) -77.5%
金融商品詐欺	()	()	1	52,000 ()	+1	+52,000 (0) 0.0%
ギャンブル詐欺	1	13,000,000 ()	1	4,479,000 ()	0 0.0%	-8,521,000 (0) -65.5%
交際あっせん詐欺	()	()	1	4,105,450 ()	+1	+4,105,450 (0) 0.0%
その他の特殊詐欺	()	()	()	()	0 0.0%	0 (0) 0.0%
キャッシュカード詐欺盗	20	36,142,000 (36,142,000)	32	29,187,000 (29,187,000)	+12 +60.0%	-6,955,000 (-6,955,000) -19.2%

※()内は引出額で内数

〈傾向〉

- オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、キャッシュカード詐欺盗の4類型が認知件数の84.5%を占めた。
- オレオレ詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード詐欺盗が増加傾向。
- 被害者は、65歳以上の高齢者が83.2%を占めた。
- 被害形態は、振込型 23.9%、現金手交型 22.6%、キャッシュカード手交型 20.6%、キャッシュカード窃取型 20.6%、電子マネー型 11.6%、送付型 0.6%であった。

ウ 電話でお金詐欺(特殊詐欺)事件の主な検挙状況

- 中国人グループによる特殊詐欺事件 (R3.1～福井・長野共同捜査)
- 暴力団準構成員らによる特殊詐欺事件 (R3.10 佐久警察署)

(3) インターネット関連詐欺

令和3年中のインターネット関連詐欺(インターネットオークション詐欺、悪質なショッピングサイトによる売り付け詐欺等)の認知件数は、45件(前年比-3件)であった。

2 通貨偽造事件

令和3年中の偽造紙幣発見枚数は、図表33のとおり、0件(前年比-4枚)であった。

(図表33) 偽造紙幣発見状況(過去10年)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
一万円	7	4	3	10	3	2	7	38	4	0
五千円	0	0	0	8	0	1	0	0	0	0
二千円	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
千円	1	4	0	1	1	1	3	0	0	0
合計	8	9	3	19	4	4	10	38	4	0

3 知能犯罪に関する告訴・告発の取扱い

- 主要告訴等処理事件
 - ・ 生活保護費不正受給事件 (R3.1 大町署)
 - ・ 破産法違反事件 (R3.3 松本署)

4 政治的不正事件の概要

(1) 衆議院議員総選挙

第49回衆議院議員総選挙は、令和3年10月19日公示、10月31日投票の日程で施行された。

ア 検挙状況

投票干渉 1件2人

イ 警告状況

文書掲示		文書頒布		その他		合計	
件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
16	16	5	5	0	0	21	21

(2) 参議院長野県選出議員補欠選挙

参議院長野県選出議員補欠選挙は、令和3年4月8日告示、4月25日投票の日程で施行された。

ア 検挙状況

なし

イ 警告状況

文書掲示		文書頒布		その他		合計	
件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
6	6	3	3	0	0	9	9

(3) 一般地方選挙

令和3年の一般地方選挙は、長野市長選挙など首長選挙21（3市7町11村）及び議員選挙23（3市9町11村）並びに補欠選挙3（1県1町1村）の合計47選挙が施行された。

ア 検挙状況

供応買収 1件22人

法定外文書頒布 1件1人

イ 警告状況

文書掲示		文書頒布		その他		合計	
件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
5	5	3	3	0	0	8	8